

社会連携報告書

2024（令和6）年度

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部
COC（地域連携）センター

目 次

はじめに	1
1. 高大連携	2
1-1 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部と鈴鹿高等学校との連携事業	
2. 学生による地域活動	3
2-1 三重県内小中学校での学習支援等ボランティア	
2-2 三重県立みえこどもの城でのイベント開催	
2-3 こどもボランティア部	
2-4 グローバルスタディ	
2-5 鈴鹿大学 ICC (International Communication Club)	
3. 地域連携	9
3-1 公開講座・授業公開	
3-2 高等教育コンソーシアムみえ	
3-3 鈴鹿市社会福祉協議会との防災関連事業	
3-4 あそび広場「すずちゃん」	
3-5 すずか市民アカデミー「まなベル」	
3-6 みえアカデミックセミナー	
3-7 豊橋市国際交流協会主催「第二回 国際交流サロン・今こそ知りたいイスラム文化」講演会	
3-8 テロを許さない社会・地域づくり	
4. 国際交流	18
4-1 カナダ・オンタリオ州シェリダン大学との MOU (覚書)	
4-2 国際交流	
● 巻末資料	20
・ 公開講座一覧	
・ 学外委員会での活動一覧	
・ 協定先一覧	

はじめに

本学では創立者堀榮二がかかげた校訓「誠実で信頼される人に」を建学の精神としています。その願いは、“誠実さを基にして学生は教職員を信頼し、教職員もまた学生を信頼することのできる教育の場にして、ここで培った信頼感を社会に広げたい”というものです。こうした精神のもと、鈴鹿大学は、“培った信頼感を社会に広げる”に因り地域社会との連携に積極的に取り組んできています。

大学が地域社会と連携することは、大学のみならず地域社会との持続可能な発展・成長に資する重要な役割を果たすと考えます。地域社会のニーズを把握し、知識や技術を共有することで、地域経済の活性化や地域社会の課題解決に貢献することも可能です。また、学生にとっては実践的な経験や社会貢献の機会を得ることができ、地域とのつながりを深めるとともに社会の中で生きることの有用性を体感することができます。

こうした中、令和6年度は、様々な態様による社会との連携活動を行ってきました。

1つ目は、大学と高等学校との連携による知の共有です。大学の研究成果や専門的知識を活用した高等学校との連携です。

2つ目は、学生による地域活動です。学生が主体となり地域の団体や住民に対して活動を提供してきました。

3つ目は、教員による地域連携です。地域住民を対象としたセミナーやワークショップ講座の開講、また大学の研究成果を活用した産学官交流等です。

4つ目は、国際交流です。本学の開学以来の強みである海外大学との交流や留学生を中心とした活動を積極的に行ってきました。

当報告書では、令和6年度に本学が行った地域社会との連携活動をまとめました。COVID-19の対策が強化された期間を経て、よりブラッシュアップされた活動もありますが、まだまだ発展の可能性のある取組もあろうかと思えます。

今後ますますの発展ができますよう、皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

COC（地域連携）センター長 伊東 直人

1. 高大連携

1-1 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部と鈴鹿高等学校との連携事業

■活動の目的と経緯

鈴鹿大学こども教育学部と鈴鹿大学短期大学部には、幼稚園教諭免許状と保育士証を取得できるコースが、こども教育学部には、養護教諭免許状を取得できるコースがあり、専門の教員や施設が整っています。鈴鹿高等学校の幼児教育クラスや看護医療クラスの人達が、「総合的な探究の時間」の一環として、本学での専門的な学びを体験し、希望する進路への興味関心を高めることを目的として、この連携事業を実施しています。

■活動内容と実績

前年度から鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部と鈴鹿高等学校の担当教員が打ち合わせを行い、授業内容を丁寧に確認します。高校生が本学に来校したり、教員が鈴鹿高等学校を訪問したりして講義を行っています。2024年度は、幼児教育クラスは、2年生は「制作活動」、「音楽活動」など4回（うち1回が大学生と合同授業）3年生は「保育者の資質とマナー」、「乳児保育」など3回（うち2回が大学生と合同授業）の講義を実施しました。看護医療クラスは、2年生は「バイタルサインと妊婦体験」を1回、3年生は「バイタルサインを測ろう。こんな時、どうする？」を1回といった講義を実施しました。

幼児教育クラスでは、「大学生と一緒に学べる機会があり楽しかった。妊婦体験ジャケットをつけた妊婦体験は、産んでくれたお母さんの大変さがよく分かった。」、看護医療クラスでは、「シミュレーター人形の腸の動く音や呼吸音を聞いたり、妊婦体験や新生児人形を抱いたりして命の大切さについて考えた。」という感想があり、とても好評でした。高校生との合同授業は、大学生にとっても大学での学びを振り返る貴重な機会となっています。



幼児教育クラス3年生の授業風景



看護医療クラス2年生の授業風景

■今後の計画

2025年度以降も鈴鹿高等学校と協力しながら、高校生の皆さんの学びを深めるこの取り組みを継続していく予定です。

■担当者

担当 こども教育学部 上田ゆかり y-ueda@suzuka.ac.jp
短期大学部 みやざき美栄 m-miyazaki@suzuka.ac.jp

2. 学生による地域活動

2-1 三重県内小中学校での学習支援等ボランティア

■活動の目的と経緯

当活動の目的は2つあります。一つは、学生の学びです。将来教員を目指すこども教育学部や短期大学の学生にとっては、教育現場において児童生徒の支援や教職員のサポートを体験することで教育現場の課題を体感したり、児童生徒と接することの喜びを体感できたりし、自らの可能性を広げることができます。

もう一つは、教育現場への支援です。様々な子どもたち一人ひとりへの支援の一端を学生自身が担ったり、教員の事務的な仕事の補助についたりすることで、教員の負担軽減につながります。働き方改革が進められている教育現場において学生が活躍することができます。

■活動内容と実績

1 三重県教育委員会「大学生等教育アシスタント」及び「自主ボランティア」

「大学生等教育アシスタント」については、前期15名、後期12名が登録して活動を行いました。また、「自主ボランティア」として、3名が活動を行いました。

活動内容は、実施校によって内容は様々ですが、主に授業時の児童生徒の学習支援を行っています。通常の学級だけでなく、特別支援学級における支援も行うなど、学生にとっては貴重な経験となっています。

2 有償ボランティア（学習指導員・スクールサポートスタッフ・保育士補助等）

有償ボランティアである学習指導員(3名)やスクールサポートスタッフ(2名)、通訳(1名)、保育士補助(6名)として活動する学生もいます。

学生は、こどもたちから「先生」と呼ばれ、授業や保育の補助をすることはもちろんですが、休み時間に一緒に遊んだり、行事を手伝ったりと、様々な場面で活躍していきました。中には、時間さえあれば小学校や保育所に出向き、積極的に子どもたちとかわる学生もいます。

小学校の校長からは、「学生がこどもたちに寄り添ってくれ、安心して学校生活が送れるようになっており、ボランティアに来て頂けることは、大変助かっています。鈴鹿大学の学生は、こどもたちに寄り添って面倒をみってくれるため、全体的に意識の高い方が多い印象です。学生のみなさんには、本校で過ごす時間を、多くの学びを得る機会としてほしいです」という感想を頂いており、小中学校と大学双方にとって有意義な取り組みであると考えています。



教育アシスタントとして活動する学生

■今後の計画

2025年度以降も三重県教育委員会の教育アシスタント制度や学習指導員等の制度を活用しながら、さらに多くの学生が参加できるよう呼びかけ、取り組みを継続していく予定です。

■担当者

担当 こども教育学部 伊東直人（授業科目「学校体験活動」担当）

連絡先 メール n-ito@suzuka.ac.jp

2-2 三重県立みえこどもの城でのイベント開催

■活動の目的と経緯

三重県立の大型児童館「みえこどもの城」にて、2018年から毎年継続してイベントを開催しています。公益財団法人三重こどもわかもの育成財団のご協力のもと、未就学児から小学生低学年の一般親子を対象とした、学生が主体（企画・チラシ作成・実践）のイベントを継続しています。短期大学部こども学専攻の希望者が関わり、学習の集大成としてイベント実践を2年次後期に位置付けています。学生は、イベントを通して社会と繋がることによって、地域としての保育・教育の在り方、またその大切さを学びます。準備・実践を通して内外でのコミュニケーション能力を高め、また個々の得意分野を最大限に活かすことで自信を高め、卒業後の生きる力に繋がります。

■活動内容と実績

【2018年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう』学生数6名

【2019年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう』学生数5名

【2020年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう～クリスマス～』学生数5名

【2021年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう

～まじょっこたちのハロウィンパーティー～』学生数9名

【2022年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう～どうぶつたちの山へ～』学生数6名

【2023年度】『すずたんひろばであそぼう～てづくり楽器をつくって音を楽しもう～』学生数5名

【2024年度】『すずたんのおねえさんたちとあそぼう～あわてんぼうのサンタクロースがやってきた～』学生数6名

4月：希望者・日時決定

5月～：イベント企画

7月：内容決定・準備

8月：チラシ完成

10月：最終調整

11月：リハーサル及び本番（10日）



■今後の計画

短期大学部学生募集停止に伴い、2025年度以降はイベント名称を変更し、こども教育学部での実施の可能性を検討していく。

■担当者

担当 短期大学部 みやざき美栄（授業科目「こども学フィールドワークⅠ・Ⅱ」担当）

連絡先 メール m-miyazaki@suzuka.ac.jp

2-3 こどもボランティア部

■活動の目的と経緯

こどもボランティア部は、様々な社会問題を常に洞察していく心を大切にし、教育・保育活動と密接に繋がっている「こども・保護者・地域」と積極的に関わりを深めていける自律的な活動体を目指し、こども教育学部一期生を主体に平成29年度に歩みを始めました。

■活動内容と実績

こどもボランティア部は、コロナ禍前には、主に「NPO 法人 いのちの言葉プロジェクト」とタイアップし、丁寧なご指導を頂きつつ、交通事故被害者、犯罪事件被害者など、残された遺族に寄り添う活動のお手伝いをさせて頂いてきました。しかし、令和2年度からのコロナ禍により、様々な活動が中断され、主力だった学生の卒業・就職に伴い、後輩への活動の継承も危ぶまれましたが、令和4年度には、新しい学生メンバーにより地域に根差した活動の模索が再スタートしました。

令和6年度の取り組みは、各部員が社会との個人的なつながりの中から小規模なボランティア活動に参加するケースも増え始め、部全体で取り組む活動とともに、活動の参加方法についての多様化が見られました。主な部全体の活動は以下にまとめました。

○4月：新入生オリエンテーションでの部活動紹介・活動を経て、今年度の部員総数は16名となりました。

○5月～：定例会では、チャットでの忌憚のないやり取りや、それぞれの活動の是非を探るアンケート回答方式の導入、オンライン会議の実施、などこどもボランティア部の中で風通しのいい意見交換ができる方法を模索しました。

また、各部員が社会との個人的なつながりの中から、小規模なボランティア活動に参加するケースも増え始め、活動方法の多様化が見られました。

○7月：ボランティア団体「プロギングみえ」のお誘いを受け、地域の海岸のゴミ拾いを通じた活動に参加し、景観・環境保全活動の大切さ、団体を運営していくことの楽しさ・難しさを学ばせていただきました（参加人数／ボランティア部員：3名、活動全体：28名）。

○10月：鈴鹿大学大学祭で「大学祭こども服&ぬいぐるみ無償提供」を実施し、二日間で約150名の親子に、使わなくなったこども服やぬいぐるみの無償提供をすることができました。服やぬいぐるみを集めるために、ボランティア部のOBや地域の現役教員の力を借りて、予想以上の品物の寄付を得ることができました（参加人数／ボランティア部員：16名、参加親子：延べ150名）。

○11月&翌2月：昨年度も好評を博した「郡山こども教室」を、郡山公民館にて二回にわたり実施しました。こどもたちと触れ合うための様々なあそびのバリエーション、創作おもちゃの活用に取り組みました。来年度以降も継続的な活動が望まれ、ボランティア部の活動のメインの一つに育ってきました（参加人数／ボランティア部員：延べ16名、小学生：延べ35名）。

○他：小規模、単発のボランティア活動多数。



「プロギングみえ」での海岸清掃活動



大学祭での「子ども服&ぬいぐるみの無償提供」



「郡山子ども教室」でのふれあい&あそび活動

■今後の計画

毎年、主導的な役割を担う上級生部員が卒業していき、新年度の体制が整うまでに、一時的に活動が停滞することがあります。後を任された後輩部員たちが先輩部員の意味を受け継ぎつつ、自分たち独自に新しいボランティア活動を模索していくことが期待されます。継続中の活動は、さらにより良いものに改善していけるように知恵を出し合っていくことも今以上に必要となるでしょう。あわせて、外部からのボランティア活動のお誘いを受け取る窓口（大学の総務課、学生支援課、部へ直接、など）の一本化も必要となります。

■担当者

担当 こども教育学部 真下賢一（こどもボランティア部顧問）

連絡先 メール k-mashita@suzuka.ac.jp

2-4 グローバルスタディ

■活動の目的と経緯

地域社会における多文化共生社会実現に向けた取り組みとして、国際経験の豊富な留学生・日本人学生を地域の幼稚園、小・中・高の県内教育機関、行政、国際交流団体等に派遣しています。

本事業は、地域の皆様に外国に対する知識と理解を深めていただくためだけでなく、参加する本学学生の自己啓発を促すための「教育の場」としても位置づけています。学生たちが本学で学ぶ国際学の専門性と国際経験を活かしながら、地域との交流・協働の中で、責任感、自律心、創造力、コミュニケーション能力等を高めることを目的としています。

■活動内容と実績

亀山市井田川小学校から、「多文化共生についての学び」の授業のため、留学生の出張授業の依頼があり、2025年1月21日に、本学の留学生6名（ネパール人留学生5名、中国人留学生1名）で参加しました。

- 1 まず留学生は2グループにわかれ、5年生4クラスを2クラスずつ訪問し、自国の地理や食文化、伝統についての紹介プレゼンテーションを行いました。



- 2 プレゼンテーションの後、小学生の皆さんからは、留学生が日本で暮らしてみて感じたこと、驚いたことや、留学生の小学校時代との違いについて、留学生からは小学生は普段どんなことをして遊んでいるのかなどを質問し合い交流しました。ネパールの文字の珍しさに気がついた子供たちは、自分の名前をネパール文字で書いてもらったり、自分の名前の漢字を中国語で読むとどのような音になるかなどに興味深々な様子で、それぞれの国の言語の違いを知る機会になったようです。



■今後の計画

引き続き、県内教育機関、行政、国際交流団体等からの学びのニーズに応えつつ、地域社会と本学学生の双方にとってより充実した学びとなる活動を目指し、事業展開を進めていきます。国際交流協会をはじめ、様々な団体との国際交流を検討しています。

■担当者

担 当 学生・キャリア支援課 および 国際交流センター
連絡先 メール gakusei@suzuka.ac.jp

2-5 鈴鹿大学 ICC (International Communication Club)

■活動の目的と経緯

留学生が地域貢献活動をすることにより、多文化共生社会実現の第一歩となる活動をしています。

当初は、学生間の交流をはかるために結成され、毎週木曜日の昼休みに食堂などに集まることから始まりました。その後、留学生の学生時代にしかできない意義ある活動、かつ卒業後も効果を発揮する活動として、留学生による地域貢献活動をはじめました。メンバーは、60名程度、留学生に限らず一般学生、外国につながる学生を含みます。

本学の留学生は、卒業後、ほぼ全員が、日本での就職を希望しており、大学生時代の地域社会での経験が将来非常に役立つと感じており、こういった留学生の存在を地域社会に認知していただきたいと考えています。また、留学生は、単なるお客さんではなく、日本で生きる市民として成長していくための糧になるような活動を続けていきたいと考えています。



海岸清掃



海岸清掃



こども食堂



森林保全活動



森林保全活動



グローバルスタディ

■活動内容と実績

毎週木曜日の昼休み 学生間の交流 於鈴鹿大学学生食堂

2024年5月31日 海岸清掃 於マリーナ河芸

2024年7月9日 海岸清掃 於マリーナ河芸

2024年6月15日 鈴鹿こども食堂りんごの家

2024年11月4日 海岸清掃 於津市河芸町上野

2024年11月23日 森林保全活動 本田技研工業(株)鈴鹿製作所 於三重県民の森

2025年1月21日 グローバルスタディ 於亀山市立井田川小学校

2025年2月20日 「みえまちキャンパス in みかん大」優秀賞受賞高等教育コンソーシアムみえ主催

■今後の計画

次年度は、これまでの活動に加えて【学官連携プロジェクト】鈴鹿市公式 Instagram への投稿を考えています。

■担当者

担当 国際地域学部 富本真理子 m-tomimoto@suzuka.ac.jp
国際地域学部 佐藤瑠美 r-sato@suzuka.ac.jp

3. 地域連携

3-1 公開講座・授業公開

3-1-1 公開講座

■活動の目的と経緯

令和6年度は、受講者のニーズに幅広く応えるため、新たな講座を提案し実施しました。9講座のうち6講座が開講成立（一講座5名以上で開講）、累計で109名となり、一定の評価が得られました。開催が叶わなかった講座については、酷暑や厳寒の時期を避けて日程を組むべきであった、との反省点も踏まえつつ、大学の持っている専門知識を広く地域・社会に発信し、大学の知の開放、社会貢献を目的として次年度も継続実施する予定です。

■活動内容と実績

- ・通年 広報活動の実施（鈴鹿市報・学校向けチラシ・公民館等へのチラシ配置・HP掲載 など）
- ・5～11月 令和6年度公開講座の実施

★実施講座の内容は別に巻末資料「●巻末資料・令和6年度公開講座一覧」参照



定員はそれぞれの講座をご確認ください

※各講座の受講料はそれぞれ違います。ご確認の上、事前にお申込みください。

	タイトル	内容	講師	日にち	時間	定員	最少人数	受講料	対象者
観光・経営	キリシタン弾圧の歴史をたどる津城下まち歩きツアー	津カトリック教会イセタニコレクション⇨お城西公園(切支丹殉教記念碑⇨正堂寺(石鎧石塔)、藤堂家キリシタン墓誌と、非公開キリシタン遺物展示を含め、1.5kmを説明しながら約2時間かけて歩いてまいります	冨本真理子	5月18日(土)	10:00~12:00	20名	5名	500円	一般
食物栄養学専攻	パン教室	バナナとカスタードクリームを包んだバナナポートパンを作ります。生地があるところからすべて手作りでいきます。自分のパンは自分で作りますので安心ください。お土産もあります。	乾陽子	6月15日(土)	13:00~15:30	20名	10名	1,500円	一般
観光・経営	海外旅行により安全安心に行きたくためのリスク管理を学ぼう!	旅行は長寿の秘訣です。特に海外旅行はアドレナリンがぐっと上がります。しかしながら、病気や怪我、盗難等のリスクがあります。より安全安心な海外旅行をするためのリスク管理方法を旅行のリスクマネジメントの専門家がお教えします。	吉川 彰洋	7月13日(土)	10:00~11:30	100名	6名	500円	一般
スポーツビジネス・経営	誰でも自宅でできる高齢者向け体操の極意を教えます。	年齢に関係なく自宅でできる体操トレーニングを教えます。むずむずや腰痛、効果が、ヘッドボウル60ml 2本でできるトレーニングとなります。	平井一正	8月11日(日)	9:00~11:00	20名	6名	500円	一般
子ども教育学部	はじめてのピアノde弾き語り挑戦か	本学ならではの1人1台完備のlavinoを使って、お気に入りの曲を演奏してみませんか。ピアノ経験がなくてもご安心ください。簡単なコード理論も解説します。将来、幼稚園や小学校の先生、保育士さんになりたいなどと考えている高校生も大歓迎!	大久保友加里	9月14日(土)	10:00~11:30	15名	5名	500円	一般、および高校生
子ども教育学部	プログラミング超入門Scratchでゲームをつくろう	小学校でもプログラミング教育が必修となりました。小学校でもよく使われているScratchでゲームづくりをチャレンジしましょう。論理的に考えていく力である「プログラミング的思考」を体験してみませんか。	大綱和夫	9月21日(土)	10:00~11:30	20名	1名	500円	小学生から大人
国際・グローバルコミュニケーション	俳句はカナダでどう詠まれたか② The Legacy of Canadian Nikkei Haiku from the Internment Years and the Post-War Years part 2	カナダの日本人が第二次世界大戦の抑留中に書いた俳句を英語話者の視点から英語で語ります。2022年度報告に続く2弾です。全て英語で行います。	アントニオ ジェン ビエール	11月2日(土)	13:00~14:30	20名	5名	500円	一般・高校生
子ども学専攻	フライングディスクスポーツ体験	子どもから大人まで誰もが楽しめるフライングディスクを使ったスポーツ遊びを体験します。	石川 拓次	11月23日(土)	10:00~12:00	8名	5名	500円	子どもから大人まで
食物栄養学専攻	管理栄養士国家試験準備講座	管理栄養士国家試験の対策講座です。本学教員が講義を実施します。2/8(土):基礎栄養学(梅原)、応用問題(福永) 2/15(土):人体の構造と機能(櫻井)、生化学(木下)	専攻教員 櫻井、梅原、福永、木下	2025年 2月8日(土)、15日(土)	10:00~12:10	なし	13人	1,000円/1日	栄養士免許保持者

(開講チラシ)

●お問い合わせ●
学校法人 孝栄学園 鈴鹿大学
三重県鈴鹿市郡山町663-222
e-mail ☎ soumu@suzuka.ac.jp
☎ 059-372-2121



<https://forms.gle/h5whvjjeGEAPY17de7>



お申込みはこちらから



大学へのアクセス

■今後の計画

次年度も今年度と同様に講座を提供する予定です。従来の広報活動が有効に機能するように講座対象者に対して積極的に呼びかけしていきます。

■担当者

担当 総務・財務課 および COC（地域連携）センター

連絡先 メール soumu@suzuka.ac.jp / k-mashita@suzuka.ac.jp

3-1-2 授業公開

■活動の目的と経緯

開かれた大学、地域に貢献できる大学を目指し、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部では、正規授業を地域の皆様に公開しています。聴講生として受講をしていただきます。地域住民の皆様が生涯学習の場としてご利用していただいています。

■活動内容と実績

今年度は、後期に 13 科目の教養科目や各学部の専門科目と幅広い分野の科目が公開されました。公開された科目は下表の通りです。中国の言語と文化Ⅱ(月曜2限)に1名の受講がありました。

	月	火	水	木	金
1限 9:00～ 10:30	・地域産業論(金子) ・日本政治外交史(松下)				・情報処理論(原) ・地域研究・アメリカ(杉浦)
2限 10:40～ 12:10	・中国の言語と文化Ⅱ(細井) ・国際関係論(松下)	・三重・鈴鹿学(富本) ・国際経営戦略論(金子)	・東アジア文化論/異文化コミュニケーション論Ⅱ(竹野)		・地域の中のこども学(石川)
3限 13:00～ 14:30		・簿記入門(李)			
4限 14:40～ 16:10	・韓国語Ⅱ(舟橋) ・中国語Ⅱ(細井)				

■今後の計画

引き続き、地域住民の学びの場として、正規授業を公開していきます。2025年度も後期に授業公開する予定です。

■担当者

担当 COC(地域連携)センター および 教務課

連絡先 メール kyomu@suzuka.ac.jp

3-2 高等教育コンソーシアムみえ

■活動の目的と経緯

三重県内高等教育機関相互並びに県内高等教育機関と地域との連携を促進することにより、県内高等教育機関の教育、研究、地域貢献の各機能の向上を図り、人口減少の抑制及び地域の活性化を実現することを目的として発足しました。鈴鹿大学は、2016年3月の高等教育コンソーシアムみえ設立と同時に活動に参加しています。

■活動内容と実績

本事業には、以下のような活動があります。

1. 企画運営委員会：コンソーシアムの企画、運営、評価、広報など
2. FD/SD 部会：教育・職員の能力向上、専門人材の育成など
3. 地域貢献部会：地域貢献機能の充実、地域からの事業受託、学生の地域活動支援など
4. 教育連携部会：(1)三重創生ファンタジスタの養成、(2)単位互換協定に基づく授業科目の開放

本年度は、地域貢献部会の活動として、本学が部会長となり、地域貢献部会の年3回の定例会議の運営を行ってきました。また、毎年開催の「みえまちキャンパス」は、今年度三重県立看護大学で開催され、部会長が審査委員長を務めました。また、参加団体として本学のサークル ICC が、会場で活動を報告し「優秀賞」をいただくことができました。(写真)



ステージ発表



パネル発表

■今後の計画

今後も県内の高等教育機関と連携を深め、協力しながら、本学の学生にとっても、メリットのある取組をいたします。県内への就職に有利な三重創生ファンタジスタの資格取得者が増えて、地域人材育成・地域貢献できる大学を目指してまいります。

また、2024～25年度は地域貢献部会の部会長校として、活動に参加していきます。

■担当者

担 当 COC（地域連携）センター

連絡先 メール gakusei@suzuka.ac.jp

3-3 鈴鹿市社会福祉協議会との防災関連事業

■活動の目的と経緯

令和6年8月8日に日向灘（宮崎の東南東30km付近）で発生した地震を受けて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発出されるなど、大規模災害がいつ発生してもおかしくない状況にあります。鈴鹿市内で大規模災害が発生した際には、迅速かつ効率的に被災者に対する支援活動が提供できるように、体制を整えておく必要があります。本学は、社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会と連携協定を締結して、災害ボランティア受付のサテライト拠点に位置付けられています。

■活動内容と実績

本年度も連携協定に基づき、令和6年12月22日（日）午前、社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会が主催する鈴鹿市災害ボランティアセンター設置・運営訓練に教職員10名が参加しました。Honda アクティブランド（鈴鹿市住吉町6731-2）でサテライト本部の運営、本田技研工業住吉寮（鈴鹿市住吉町8224）でボランティア訓練の実践に携わりました。



■今後の計画

本学は大規模災害時のサテライト拠点であり、有事の際に駆けつけていただくボランティアの方への的確な指示を出すことが第一義です。それには、100名に満たない教職員に当事者意識を徹底することが重要です。令和7年度も引き続き防災関連の取り組みに関与してまいります。

■担当者

担当 総務課 および COC（地域連携）センター

連絡先 soumu@suzuka.ac.jp

3-4 あそび広場「すずちゃん」

■活動の目的

あそび広場すずちゃんは、地域の親子が集い、子どもが楽しく遊んだり、保護者と子が交流したりする機会を提供します。また、子ども同士、保護者同士が自然に交流できる環境を作り、子どもの健やかな育ちを支えます。保護者のニーズに応じ、子育て等に関する情報の提供や相談を通して、保護者が安心して子育てができる環境を整えてきました。学生は実践活動を展開し、保育の実践力を高める場となっています。

■活動内容と実績 (2024 年度)

開催期間：毎週水曜日 10 時～11 時 30 分
(鈴鹿大学 I 棟プレイルーム)

開催回数：通常の広場 7 回、リトミック 4 回

参加費：通常の広場 無料、
リトミック 未就園児親子 1 組 1 回
1,000 円

担当者：市川恵理子、國京恵子、南谷悠子

リトミック：勝井由紀 (外部講師)

※リトミックを年齢別に分け、開催いたしました。

2024 あそび広場すずちゃん 参加人数					
		担当	学生	保護者	子ども
1	5月15日	短大2年生	4	5	5
2	5月22日	短大2年生	6	6	6
3	5月29日	短大2年生	6	7	7
4	6月12日	こども教育3年生	20	10	11
5	7月3日	リトミック	2	5	6
6	7月24日	こども教育3年生	5	13	13
7	10月16日	リトミック(こども教育3年生)	3	14	15
8	11月13日	こども教育3年生	7	11	11
9	11月27日	リトミック(こども教育3年生)	2	8	9
10	12月11日	リトミック(こども教育3年生)	2	11	12
11	1月8日	こども教育1年生	7	6	6



令和6(2024)年度は、学生のべ64名、子ども101名、保護者96名の参加がありました。本活動は学生の実践的な学びの場、教員の研究・教育の場、大学の地域貢献活動、保護者・子どもの安心の場・楽しい場となっています。教育・保育実習では学ぶことのできない保護者支援の学びが期待でき、実習に先立って保育指導の学びも得ることができる機会となりました。指導計画案に基づいた保育の充実を図り、振り返りのミーティングをもって成果、課題を語り合い、模擬保育を実践することで、学生に十分な学びの場を提供することができました。

■今後の計画

安全な環境構成に努めながら広場を開催し、広場をより多くの人に利用してもらえるよう広報いたします。多くの参加者を募り、地域の子育て支援へ貢献するとともに、学生の学びの成果を高めていきたいと思っております。

■担当者

担当 短期大学部 南谷悠子

連絡先 メール y-nanya@suzuka.ac.jp

3-5 すずか市民アカデミー「まなベル」

■活動の目的と経緯

「すずか市民アカデミー『まなベル』」は、鈴鹿市と連携し、鈴鹿市民の「さらに詳しく知りたい」という専門的分野への学習ニーズに応えるとともに、学びの楽しさを実感し、生涯学習をさらに深めていくことを目的としています。

「まなベル」は、鈴鹿市から業務委託という形式で鈴鹿市内の4高等教育機関が行っている事業です。各教育機関を会場として、それぞれの特徴を生かした専門性のある教育内容を分かりやすく楽しい講座として提供しています。

■活動内容と実績

今年度テーマ「温故知新～新たな未来に向かって～」

・2024年10月5日(土) 10:00~11:30 (会場: B棟 101)

講座: 有害鳥獣駆除とジビエ利活用の可能性

ねらい: 近年、狩猟や有害鳥獣対策として捕獲されたシカやイノシシを食肉(ジビエ)として有効活用し、鳥獣被害対策や地域活性化に貢献する取り組みが広がっています。本講座では、ジビエの有効活用と現代の食課題、環境問題について考えるために、資料やデータをもとに、分かりやすく解説しました。

講師: 短期大学部 教授 櫻井 秀樹

参加人数: 12名



・2024年11月30日(土) 10:00~11:30 (会場: B棟 101)

講座: 高齢期と青年期それぞれの継承—キリスト教と仏教に学ぶ—

ねらい: 宗教指導者たちが高齢期をどう生き、次世代に何を伝えてきたか。青年期を生きる宗教青年会メンバーが、どのように活動し次世代に何を伝えようとしているか。約20年間、講師がフィールドワークで見聞して来た「継承」について、受講者の方々が日常的に関わる機会の少ない宗教の現場について語りました。

講師: こども教育学部 教授 川又 俊則

参加人数: 21名



■今後の計画

引続き鈴鹿市の要望(テーマ)及び鈴鹿市民の学びのニーズに応えた講座を提供していきます。また、本学の特徴を生かした専門的でありながら、それでいてわかりやすい生涯学習講座を目指していきます。

■担当者

担当 総務・財務課 および COC(地域連携)センター

連絡先 メール soumu@suzuka.ac.jp

3-6 みえアカデミックセミナー

■活動の目的と経緯

三重県内にある全ての高等教育機関が有する高度な学びと県民の方々をつなぐことを目的とした公開講座セミナーです。各高等教育機関の特色を生かしたバラエティ豊かなセミナーであり、新しい学びの発見につながるとともに、地元の各高等教育機関の特色や地域への取り組みなどを知ってもらうことができるよい機会となっています。

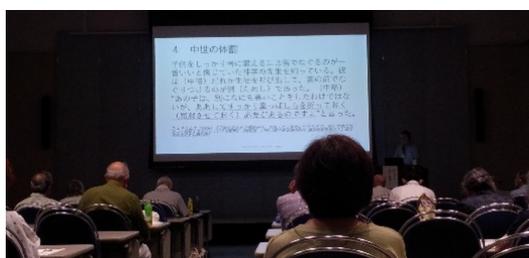
■活動内容と実績

全体テーマ「知のひろがりそれは希望への一歩」

- ・2024年7月24日（水）13：30～15：00（会場：三重県文化会館レセプションルーム）

講 座：体罰イメージの変遷～西洋の教育思想に焦点をあてて～

講 師：短期大学部 助教 井上 剛男



- ・2024年7月27日（土）13：30～15：00（会場：三重県文化会館レセプションルーム）

講 座：多民族国家マレーシアからみた日本

講 師：国際地域学部 助教 竹野 富之



■今後の計画

引き続き、県民の学びのニーズに応えた講座を提供していきます。また、本学の特徴を生かした専門的でありながら、それでいてわかりやすい講座を目指していきます。

■担当者

担 当 総務・財務課 および COC（地域連携）センター

連絡先 メール soumu@suzuka.ac.jp

3-7 豊橋市国際交流協会主催「第二回 国際交流サロン・今こそ知りたいイスラム文化」講演会

■活動の目的と経緯

2023年11月に竹野（国際地域学部助教）が豊橋市国際交流協会に訪問した際、担当者から同協会の主催する国際交流サロンのイベントとして「イスラムについての講演をしませんか?」のご依頼があり、引き受けることになりました。その後、講演の準備を進めるなか、本学のムスリム留学生（パキスタン出身の男性ムスリム）にゲストスピーカーとして参加してもらう方向に話が進み、日本における彼らの暮らしぶりについて話してもらうことになりました。また、講演タイトルは「今こそ知りたい！イスラム文化」に決定されました。

そして2024年6月15日、豊橋駅前にある「emCAMPUS EAST」において講演が開催されました。参加者数は約30名となり、盛況のうちに終了いたしました。本講演は豊橋市民にイスラムに対する知識と理解（エチケットや宗教実践など）を深めていただく場としてだけではなく、本学のムスリム留学生と市民との交流の場にもなったと思います。

■活動内容と実績

本講演では竹野が司会・進行役をつとめ、イスラムの教義やイスラム諸国のエチケットや文化についての説明を行いました。その後、参加していただいた市民の皆様とムスリム留学生の質疑応答という流れになりました。講演後、参加者からは「日本に住むムスリムの課題を知ることができた」、「日本社会に溶け込もうとしているムスリム留学生に親しみを感じた」といったコメントをもらうことができました。また、本学のムスリム留学生からは「イスラムについて市民の皆さんの前で話すことができたので、よい交流の場となった」という発言がありました。本講演がムスリム留学生と豊橋市民との交流を促進するための第一歩になったと思います。

■今後の計画

今後は三重県・愛知県内のムスリム児童の教育問題をとりあげ、ハラール給食対応の必要性や彼らの宗教実践に対する市民理解の増進に向けた講演や研究活動を強化していきたいと思います。また、本学国際地域学部をムスリム理解増進のための拠点とすべく、ハラール・ビジネスやムスリム・インバウンド等の研究をテーマとする市民参加型の研究会の設立にむけて努力していきたいと考えております。

■担当者

担当 教務・学生支援課 および 国際交流センター

連絡先 メール gakusei@suzuka.ac.jp

3-8 テロを許さない社会・地域づくり

■活動の目的と経緯

令和5年度に、テロ対策鈴鹿パートシップ定例会においてモデル事業所として中部電力ミライズ様から本学に引き継がれました。本学はテロを許さない社会・地域づくりに協力します。

■活動内容と実績

令和5年11月から、テロ対策鈴鹿パートナーシップ事業所に就任していましたが、この度、鈴鹿警察署から「みテますキープ制度達成事業所」として認定され、次期パートナーシップ事業所の「そよら鈴鹿白子」様へ引継ぎを行いました。

教育機関として初めて就任させていただき、学生をはじめ、地域住民のみなさまへ、テロ対策の広報啓発に貢献させていただきました。



■今後の計画

引き続きテロを許さない社会・地域づくりに協力していきます。

■担当者

担当 総務・財務課

メール soumu@suzuka.ac.jp

4. 国際交流

4-1 カナダ・オンタリオ州シェリダン大学との MOU（覚書）

■活動の目的と経緯

本学とシェリダン大学は、10年以上にわたり MOU（覚書）を締結してきました。MOU の目的は、教職員と学生との正式な学術交流の基礎を提供することです。この MOU により、本学はシェリダン大学と提携していることにより、入試広報の効果が得られます。また、本学の学生が英語を勉強するためにシェリダン大学に留学を申請する場合、申請手続きのサポートが期待できるものになっています。

■活動内容と実績

2023 年 6 月	シェリダン大学が本学に対し、前回の MOU が期限切れに達したという内容の連絡でした。
2023 年 7 月	シェリダン大学が作成されたアンケートに回答し、返送しました。
2023 年 9 月	新しい MOU について話し合う会議がシェリダン大学で開催されました。 シェリダン大学のご事情があり、MOU は 2023 年に完成することができませんでした。
2024 年 5 月	シェリダン大学から連絡
2024 年 7 月	シェリダン大学の代表者から、MOU が遅延した理由の説明を Zoom ミーティングで受けました。また、カナダ政府は留学生のビザプロセスを変更しました。
2024 年 11 月中旬	シェリダン大学から MOU 契約書が完了したという連絡がありました。
2025 年 2 月下旬	MOU 契約書に署名し、シェリダン大学に送付しました。

■今後の計画

この MOU は 5 年間存続します。5 年後の 2030 年に、本学とシェリダン大学は新たな MOU を締結する必要がありますので、より良い関係を継続したいと思います。

■担当者

担 当 国際地域学部 アントニオ ジャン ピエール および 国際交流センター

連絡先 メール jp-antonio@suzuka.ac.jp

4-2 国際交流

■活動の目的と経緯

本学の学生が多様な人々とともに目標に向かって協力する力を身につけるために、授業内外で海外の学生との交流・協働を行っています。

■活動内容と実績

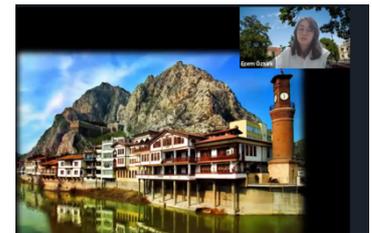
①ベトナム・ズイタン大学言語人文社会大学日本語学部と COIL

COIL (Collaborative Online International Learning)とは、オンラインで国内外の他大学と接続し、授業内外で交流・協働を行う「オンライン国際協働教育／学習」です。ズイタン大学 (Duy Tan University=DTU) の Nguyen Thi Bich Ha 先生のご協力で、ベトナムの学生さんたちとこの3週間、交流を続けてきました。そして、日越混合グループで、「ダナンと三重県の観光」というテーマで発表しました。ベトナムの学生さんたちは、とても日本語が上手でした。でも、オンライン交流ということで、様々な行き違いやハプニングを乗り越えての発表でしたので、達成感は最高で、とても実りある学修となりました。



②トルコ国立エルジェス大学との言語文化交流発表会

鈴鹿大学とトルコ国立エルジェス大学の学生が言語文化交流発表会をオンライン開催しました。エルジェス大学は、トルコ共和国アナトリア地方の歴史の深い街、カイセリ (Kayseri) に立地する総合大学です。当日は鈴鹿大学 国際地域学部で学ぶ6名と、エルジェス大学日本語・日本文学科に在籍する8名の学生が4チームずつに分かれて各チームのテーマに沿った発表を日本語で交互に行いました。



■今後の計画

多文化共生をより発展させるためにオンライン交流会をさらに発展させ、学生のみならず教職員間における学術交流についても視野に入れます。

■担当者

担当 総務・財務課 および 国際交流センター

連絡先 メール soumu@suzuka.ac.jp

●巻末資料

・令和6年度公開講座一覧

	講座名	講師	開催日	内容	受講者数
1	キリシタン弾圧の歴史をたどる 津城下まち歩きツアー	富本真理子	5月18日 (土)	津カトリック教会（イセタニコレクション）⇒お城西公園（切支丹殉教記念碑）⇒正覚寺（石姫石棺）。藤堂家キリシタン秘話と、非公開キリシタン遺物鑑賞を含め、1.5kmを説明しながら、約2時間かけて歩いて回る。	21名
2	パン教室	乾 陽子	6月15日 (土)	バナナとカスタードクリームを包んだ「バナナポートパン」を作る。生地をこねるところからすべて手作業で行う。自分のパンは自分で作るので安心。お土産つき。	24名
3	海外旅行により安全安心に行くためのリスク管理を学ぼう！	古川 彰洋	7月13日 (土)	旅行は長寿の秘訣。特に海外旅行はアドレナリンがぐっと上がる。しかしながら、病気や怪我、窃盗等のリスクがある。より安心安全な海外旅行をするためのリスク管理方法を旅行のリスクマネジメントの専門家が教える。	15名
4	はじめてのピアノ de 弾き語りに挑戦♪	大久保友加里	9月14日 (土)	本学ならではの1人1台完備の Clavinova を使って、お気に入りの曲を演奏する。ピアノ経験がなくてもご安心を♪簡単なコード理論も解説する。将来、幼稚園や小学校の先生、保育士になりたいと考えている高校生も、大歓迎！	10名
5	プログラミング超入門 Scratchでゲームをつくろう	犬飼 和夫	9月21日 (土)	小学校でもプログラミング教育が必修となった。小学校でもよく使われている Scratch でゲームづくりにチャレンジする。論理的に考えていく力である「プログラミング的思考」を体験してみる。	27名

6	俳句はカナダ でどう詠まれ たか(2) The Legacy of Canadian Nikkei Haiku from the Internment Years and the Post-War Years part 2	アントニオ ジャン ピエール	11月2日 (土)	カナダの日系人が第二次世界大戦の抑留中に 書いた俳句を、英語話者の視点から英語で語 る。2022年度報告に続く第2弾。全て英語で 行う。	12 名
受講者合計			109名		

●学外委員会での活動(委員会名・役職名のリスト)

この資料は鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部に委嘱届の提出されたもののみを示します。この他に教員が個人的に学外組織の委員を務めている場合もあります。

教員

氏名	派遣先	内容
水谷 明弘	三重県	みえメディカルバレー推進代表者会議／委員 みえライフイノベーション総合特区地域協議会／委員
	三重県私学総連合会	副会長
	鈴鹿市スポーツ協会	評議員
	SUZUKA 産学官交流会	顧問
	鈴鹿工業クラブ	会員
	ケーブルネット鈴鹿放送番組審議会	委員
	鈴鹿メディアパーク番組審議委員会	委員
今光 俊介	鈴鹿医療科学大学	臨床研究倫理審査委員会／外部委員 ヒトゲノム研究倫理審査委員会／外部委員
	鈴鹿市社会福祉協議会	鈴鹿市災害ボランティアセンター連絡会／委員
	鈴鹿市	鈴鹿市廃棄物減量等推進審議会／委員
	鈴鹿市	鈴鹿市モノづくり元気企業支援事業検討会議／構成員
田中 利佳	三重県議会	三重県選挙管理委員会／委員
	鈴鹿市	鈴鹿市特別職報酬等審議会／委員
舟橋 宏代	ダイシン物流株式会社	日本語教室講師アドバイザー
富本 真理子	斎宮歴史博物館	斎宮歴史博物館受付業務委託の総合評価一般競争入札に係る落札者決定基準への指導・助言
	伊勢市	伊勢市都市計画審議会／委員
	三重県	第24回三重県文化賞選考委員会
	鈴鹿市	鈴鹿市人権擁護に関する審議会／委員
	鈴鹿市	鈴鹿市景観審議会／委員

松下 奈美子	国立社会保障・人口問題研究所	アジア諸国から日本へ向かう国際労働移動に関する将来推計モデルの開発プロジェクト／委員
棧敷 まゆみ	三重県	三重県多文化共生推進会議／委員
竹田 昌平	三重県生涯スポーツ協会	理事長
菊森 智絵	総発デザイン研究所	コンサルタント
上田 ゆかり	三重県	みえ家庭教育応援推進会議／委員
	鈴鹿市	鈴鹿市子ども・子育て会議／委員 鈴鹿市子ども条例検討部会／委員
川又 俊則	桑名市	桑名市男女共同参画審議会／委員
	鈴鹿享栄学園	評議員
清田 雄治	みよし市	みよし市情報公開・個人情報保護審査会／委員 みよし市行政不服審査会／委員
	知立市	知立市情報公開・個人情報保護審査会／委員
	尾三消防組合	尾三消防組合行政不服審査会／委員 尾三消防組合情報公開・個人情報保護審査会／委員
井上 明美	長浜市教育委員会	就学前特別支援巡回相談／相談員
木村 美来	鈴鹿市	鈴鹿市国民保護協議会／委員
	鈴鹿市	鈴鹿市防災会議／委員
梅原 頼子	三重県栄養士会	監事
	三重県	公衆衛生審議会歯科保健部会／委員
櫻井 秀樹	三重県教育委員会	学校給食における食品ロス削減等に関する取組のモデル事業推進委員会／委員
石川 拓次	鈴鹿市	鈴鹿市特定教育・保育施設等重大事故検証委員会／委員

職員

氏名	派遣先	内容
鹿島 孝之	鈴鹿市	鈴鹿市雇用促進連絡協議会／構成員

●協定先一覧

2025年3月31日現在

協定先	内容
鈴鹿市	鈴鹿国際大学と鈴鹿市との学官連携に関する協定書
鈴鹿市	大規模災害時における避難場所としての使用に関する協定書
社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会	社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会と学校法人享栄学園鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との災害発生時における相互協力に関する協定書
全国「道の駅」連絡会	「道の駅」就労体験型実習の実施に関する基本協定
有限会社ホテル・ニューいろは	彩花亭の経営コンサルティング実践に関する産学連携基本協定書
株式会社ワンピース	株式会社ワンピースと鈴鹿大学短期大学部との産学連携基本協定書
SUZUKA 産学官交流会	ランニングバイクプロジェクトに関する基本協定書
株式会社日本政策金融公庫津支店 株式会社日本政策金融公庫四日市支店	起業家教育及び産学連携の協力推進に関する協定書
亀山みそ焼きうどん本舗 亀山市 株式会社鈴りん探偵舎	B-1グランプリで亀山をしてみよう協定
株式会社タスカル	株式会社タスカルと学校法人享栄学園との産学連携基本協定書
三重県	鈴鹿大学及び鈴鹿大学短期大学部への三重県営住宅の提供に関する協定書
NPO 法人三重県生涯スポーツ協会	NPO 法人三重県生涯スポーツ協会とのデータサイエンス教育に関する協定書
株式会社三重スポーツコミュニケーションズ	株式会社三重スポーツコミュニケーションズとのデータサイエンス教育に関する協定書
陸上自衛隊航空学校	鈴鹿大学短期大学部校外実習生受け入れ協力に関する協定書
一般社団法人鈴鹿市観光協会	一般社団法人鈴鹿市観光協会と学校法人享栄学園の相互連携に関する協定書
太門通商株式会社	太門通商株式会社と鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との産学連携基本協定書
日清医療食品株式会社	日清医療食品株式会社と鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との産学連携基本協定書
公益財団法人日本スポーツ施設協会	公認スポーツ施設管理士養成講座開講及び資格認定試験の実施に関する協定書

特定非営利活動法人三重県生涯スポーツ協会 三幸株式会社	スポーツビジネス人材の育成に関する産学連携基本協定書
NPO 法人三重花菖蒲スポーツクラブ	スポーツ経営人材の育成に関する産学連携基本協定書
株式会社スズカ未来	株式会社スズカ未来と学校法人享栄学園との産学連携基本協定書
陸上自衛隊久井駐屯地	校外実習性受け入れ協力に関する協定書
陸上自衛隊航空学校明野駐屯地	校外実習性受け入れ協力に関する協定書
一般財団法人答志島スポーツ・文化クラブ	スポーツ経営人材の育成に関する産学連携協定書
一般財団法人 UAV&INC 協会	一般財団法人 UAV&INC 協会との連携に関する協定書
NAJC	鈴鹿大学と NAJC の教育パートナーシップに関する協定
三重大学 他 11 高等教育機関 三重県	「高等教育コンソーシアムみえ」に関する協定書
三重大学 他 12 高等教育機関	高等教育コンソーシアムみえ単位互換に関する協定書
亀山市教育委員会	亀山教育委員会と鈴鹿大学との連携に関する協定書
亀山市教育委員会	亀山教育委員会と鈴鹿大学短期大学部との連携に関する協定書
蘇州人旺資源服務有限公司	中国人留学生の就職支援に関する協定書
尾鷲市	尾鷲市インターンシップの取扱いに関する協定書
特定非営利活動法人三重県生涯スポーツ協会	インターンシップに関する協定書
一般社団法人グローバル愛知	外国人留学生インターンシップの受入に関する覚書
ジャパン HR ソリューションズ株式会社	外国人留学生インターンシップの受入に関する覚書

●高大等連携関係 協定先一覧

2025年3月31日現在

協定先	内容
放送大学	鈴鹿国際大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書
中華人民共和国河北工業大学	日本鈴鹿国際大学と中華人民共和国河北工業大学の編入学生に関する協議書
中華人民共和国河北工業大学	日本鈴鹿国際大学と中華人民共和国河北工業大学の学術交流に関する協定
三重県立久居高等学校	三重県立久居高等学校と学校法人享栄学園鈴鹿短期大学との高大連携に関する協定書
四日市大学 他5高等教育機関	三重県私立高等教育機関の包括的連携に関する協定書
鈴鹿高等学校 鈴鹿中学校	鈴鹿中学校・鈴鹿高等学校と鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との高大連携に関する協定書
大韓民国順天第一大学校	日本国鈴鹿大学と大韓民国順天第一大学校の学術交流に関する協定
大韓民国仁川大学	日本国鈴鹿大学と大韓民国仁川大学校との教育の交流に関する協議書
大韓民国仁川大学	日本国鈴鹿大学と大韓民国仁川大学校との学術交流に関する協定
台湾首府大学	鈴鹿大学と台湾首府大学との学生交流及び進学支援に関する協議書
台湾首府大学	鈴鹿大学と台湾首府大学の学術交流に関する協定
三重県立四日市工業高等学校	三重県立四日市工業高等学校と学校法人享栄学園鈴鹿大学との高大連携に関する協定書
中国文化大学社会科学院	鈴鹿大学と中国文化大学の学術交流に関する協定書
啟英高等学校	啟英高等学校と学校法人享栄学園との高大連携に関する協定書
啟英高等学校	鈴鹿大学と啟英高等学校との学生交流及び進学支援に関する協議書
長榮大学	鈴鹿大学と長榮大学との学術交流に関する覚書
岐阜経済大学	大学間連携推進事業の実施に関する協定書
佛教大学	佛教大学と鈴鹿大学との小学校教育諭免許状課程履修に関する協定書
松阪市 三重県立飯南高等学校 株式会社鈴りん探偵舎	飯南いいな～協定
三重県高等学校商業校長会	三重県商業学校商業校長会と鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との商業教育連携・推進に係る協定書

愛知教育大学	愛知教育大学と鈴鹿大学との教員養成の高度化に関する連携協定書
高田高等学校	インターンシップに関する覚書
中国 湖南女子学院	湖南女子学院短期留学協定締結について
三重県立白子高等学校	高大連携に関する協定書締結について
三重県立石薬師高等学校	高大連携に関する協定書締結について
三重県立白山高等学校	高大連携に関する協定書締結について
三重県立飯南高等学校	高大連携に関する協定書締結について
三重県立稻生高等学校	高大連携に関する協定書締結について
三重県立四郷高等学校	高大連携に関する協定書締結について
中国 安徽国际商务职业学院	友好提携に関する覚書締結について
中国 江西応用科技学院、阜陽師範大学	友好提携に関する覚書締結について
中国 重慶外国語外事学院	友好提携に関する覚書締結について
中国 上海外国語大学賢達経済人文学院	友好提携に関する覚書締結について
中国 江西外语外贸职业学院	友好提携に関する覚書締結について
中国 青島幼児師範高等学校専科学校	友好提携に関する覚書締結について
中国 榆林正大中学	友好提携に関する覚書締結について
中国 西安交通大学城市学院	西安交通大学城市学院との学術交流に関する協定
中国 煙台城市科技職業学院	煙台城市科技職業学院との学術交流に関する協定
中国 三岐大学科技学院	三岐大学科技学院との学術交流に関する協定
学校法人メイ・ウシヤマ学園	学校法人メイ・ウシヤマ学園と包括連携協定書
カナダ シェリダン工科・高等教育大学	基本合意書